

影の中の楽園ーデレク・ジャーマンの庭ー

Eden in the Shadow of Dungeness-Derek Jarman's Garden

奥宮誠次・池田啓子 | 協力：藤本由紀夫

OKUMIYA Seiji, IKEDA Keiko with FUJIMOTO yukio

2025年10月29日(水) - 11月15日(土)

pm 12-7 休廊：日・月・火 曜



左《Derek Jarman》右《Candlelight》ジークレープリント、パライタ紙、356x279mm 1989年

奥宮誠次、池田啓子による「ダンジネス・デレクジャーマンの庭」を開催します。

ダンジネス(Dungeness)は原子力発電所と荒涼とした海岸線をもつイギリス南東部の海辺の町。デレク・ジャーマン(1942~94)は、《THE GARDEN》をはじめマイノリティをテーマとした作品を多数制作し、映画監督、舞台デザイナー、作家、園芸家として20世紀の英国アート界に独自の位置を確立したアーティストです。彼は1994年にAIDS合併症で死去するまでの数年をこのダンジネスのコテージに暮らし、「イングランドの砂漠」とも呼ばれるこの地で病と闘いながら庭をつくり映像作品を製作しました。

当時イギリスを拠点に活動していた写真家、奥宮誠次は、デレクが『プロスペクト・コテージ(展望・期待の家)』と名付けて住んだコテージを度々訪れ、彼の晩年の4年間に撮影しました。それら奥宮の写真は、デレクの死後、イギリスのバービカンセンターで催されたデレク・ジャーマン回顧展に出品される予定でしたが、その準備のために奥宮が貸与した自身のネガ、ポジ等の全てが紛失という不遇に見舞われました。

本展は、奥宮誠次の手元に残されたダンジネスの写真と、池田啓子によるインスタレーションで空間を構成します。

また、デレク・ジャーマンに深い関心を寄せる藤本由紀夫氏の協力により、この空間に音を加えていただきました。

11/1(土)は、藤本由紀夫氏をゲストにお迎えして、奥宮誠次、池田啓子によるトークイベントを開催します。デレクがエイズを宣告された後1986年から暮らしたダンジネスと庭について、数々のエピソードをうかがえるまたとない機会となるでしょう。

+1art

| 会期中催し | トークイベント

日 時：11/01 (土) pm 5~

会 場：+1art

登壇者：奥宮誠次、池田啓子、藤本由紀夫

参加費：¥500

定員 20名 予約優先 (+1art ▶ gal@plus1art.jp)

| 展示作品 |

●奥宮誠次

写真(パライタ紙にジークレープリントおよびピエゾグラフィー)
297 x 356 mm、508 x 610 mm 約12点

●池田啓子

インスタレーション(鏡、オーガンジー、レタリング)

●藤本由紀夫

サウンドインスタレーション(短波ラジオ)



奥宮 誠次

OKUMIYA Seiji



それは1989年のこと。私は、初めてプロスペクトコテージを訪ねた時のことを今でも鮮明に覚えている。デレクに会えることにワクワクし、そして彼の風変わりな庭に魅了された。1986年、彼はHIVに罹ったことをきっかけにダンジネスに住むようになった。彼はこの荒廃した地に庭を造ることは挑戦だと言う。海岸の石や貝殻、流木、死に向かっている物を集めて、アートオブジェとして復活させ、楽園を造ろうとしていたのだ。

彼はある日「できるだけ早く描きたいんだ。ボクにはもうあまり時間がないからね」と。画筆は使わず手の平に絵の具をとり、その色彩が指から直接キャンバスに。私は夢中でシャッターを切り続けた。

(奥宮 誠次)

写真家。高知県生まれ。1986年に渡英し、ロンドンを拠点に主にヨーロッパで活動。

欧州各地を巡り、さまざまな人々のポートレート、世界の動物園の撮影を手がける。

2012年、再び東京に活動の拠点を移す。Anchovy Studio設立。

ポートレート、旅、ランドスケープ、ライフスタイルを中心に活動。

主な著書に「世界の動物園」「原発ガーデン」「風が笑えば」(俵万智との共著)などがある。

池田 啓子

IKEDA Keiko



《untitled》鏡 420x3250x3mm 2008

今回の展覧会では境界を主に置き、鏡・言葉を素材を施作した。

鏡による作品は、境界線である窓の内側に置かれた鏡が外の景色を映し出し、内と外の境界をぼかし曖昧な空間を作る。

また、空間に配置されたオーガンジーの布の上に印字された52文字。

この文字はダンジネスの景色、彼の庭の植物、映画ブルー作品のなかでの眩きなど、意味のない言葉である。

そして空間内に吊るされた布は境界線を曖昧にする役割を担っている。

(池田 啓子)

香川県生まれ。大阪在住。70年代より大阪を拠点に活動。

光を主題にしたインスタレーションを国内外で数多く発表。

展覧会(2010～)

2022 "Sound of Square" from 1982 ギャラリーヤマグチンストパウ(大阪)

2022 soft hope +l art(大阪)

2022 堀尾昭子 池田啓子 展 ギャラリーヤマグチンストパウ(大阪)

2019 light crossing / 光差 +l art(大阪)

2022 ART ON BOOK 山口藝廊(台湾)

2022 LIGHT on ART / 池田啓子・丁建中 ギャラリーヤマグチンストパウ(大阪)

2017 The artists with Gallery Yamaguchi Kunst-bau 山口藝廊(台湾)

2017 色の相互作用 ギャラリーヤマグチンストパウ(大阪)

2016 light moving / 光移 +l art(大阪)

2011 light work-etamal ギャラリーヤマグチンストパウ(大阪)

2010 LIGHT WORK 信濃橋画廊5(大阪)